

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 15 号

第 15 週 (4月10日 ~ 4月16日)

発行年月日:平成18年(2006年) 4月20日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

今週の感染症発生動向

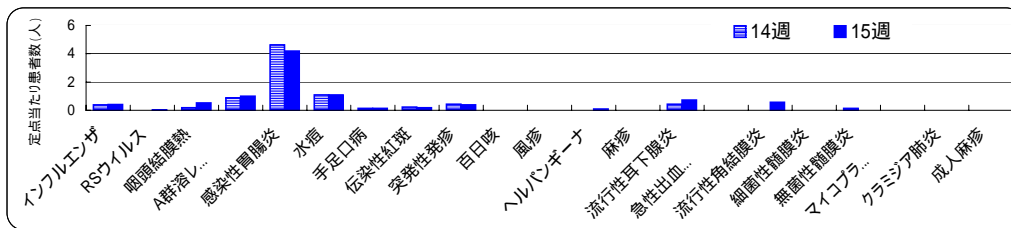
インフルエンザウイルスB型の検出 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~15週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(4月3日~4月9日)の報告数よりやや多くなっており、増加した疾患は咽頭結膜熱、流行性角結膜炎等で、減少した疾患は感染性胃腸炎、突発性発しん等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

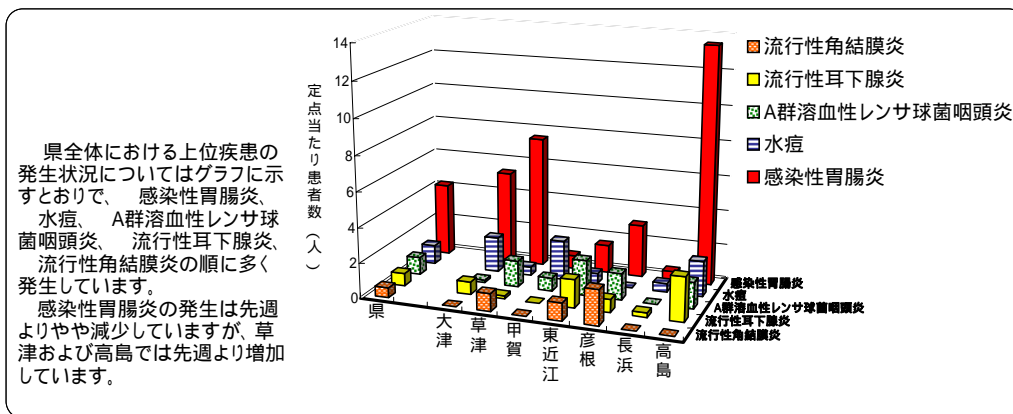
インフルエンザについては、平成18年3月25日および平成18年3月31に採取された咽頭ぬぐい液から**インフルエンザウイルスB型**が検出され、県内における今期の検出は今回が初めてです。なお、インフルエンザウイルスA香港型の検出については平成17年12月16日に、インフルエンザウイルスAソ連型の検出については平成18年1月23日に公表されています。

今週は、全数報告感染症の届出はありませんでした。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第15週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の順に多く発生しています。

感染性胃腸炎の発生は先週よりやや減少していますが、草津および高島では先週より増加しています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~15週)

感染症類型	疾患名	1~10週の累積報告数	11~15週の報告年月日	概 要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	細菌性赤痢	2(*)	報告なし			
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	H18.3.29	血清型: O157 産性毒素型: VT1(+), VT2(+)	日本国内 経口感染 焼き肉・牛レバーの生食 * VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型	
四類感染症	レジオネラ症	2	H18.4.6		日本国内	
五類感染症	アメーバ赤痢	3	報告なし			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	2	報告なし			
	梅毒	2	H18.3.13 H18.3.15	早期顕症梅毒 無症候梅毒	不明 日本国内	
	急性脳炎	1	報告なし		異性間性的接触	

(*)検査法第26条の3に基づき(検査所長から滋賀県知事への通知による)

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (15週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (15週)	全国 (15週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	141	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	21	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	139	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)4} 19	0	40
	A型肝炎	0	0	^{(*)4} 100	1	168
	オウム病	0	0	6	1	34
	デング熱	0	0	13	1	73
	マラリア	0	0	10	0	66
	レジオネラ症	0	3	99	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3	174	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	67	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	53	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	33	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	2	325	7	1,161
	ジアルジア症	0	0	18	0	81
	梅毒	0	2	155	0	555
	破傷風	0	0	16	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	18	2	65
	急性脳炎	0	1	^{(*)4} 66	2	180

- * 1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
- * 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
- * 3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。
- * 4: 平成18年第13週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

全国における全数報告感染症の発生状況 - iDWR2006年第13週、3/27～4/2より -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: レジオネラ症 4例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 13例
二類感染症: 細菌性赤痢 11例	A型肝炎 7例	クロイツフェルト・ヤコブ病 6例
腸チフス 1例	E型肝炎 1例	バンコマイシン耐性
パラチフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	腸球菌感染症 1例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 7例	破傷風 2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
四類感染症: つつが虫病 1例	梅毒 4例	急性脳炎 2例
マラリア 1例	ウイルス性肝炎 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第10週～15週、2/27～4/16)

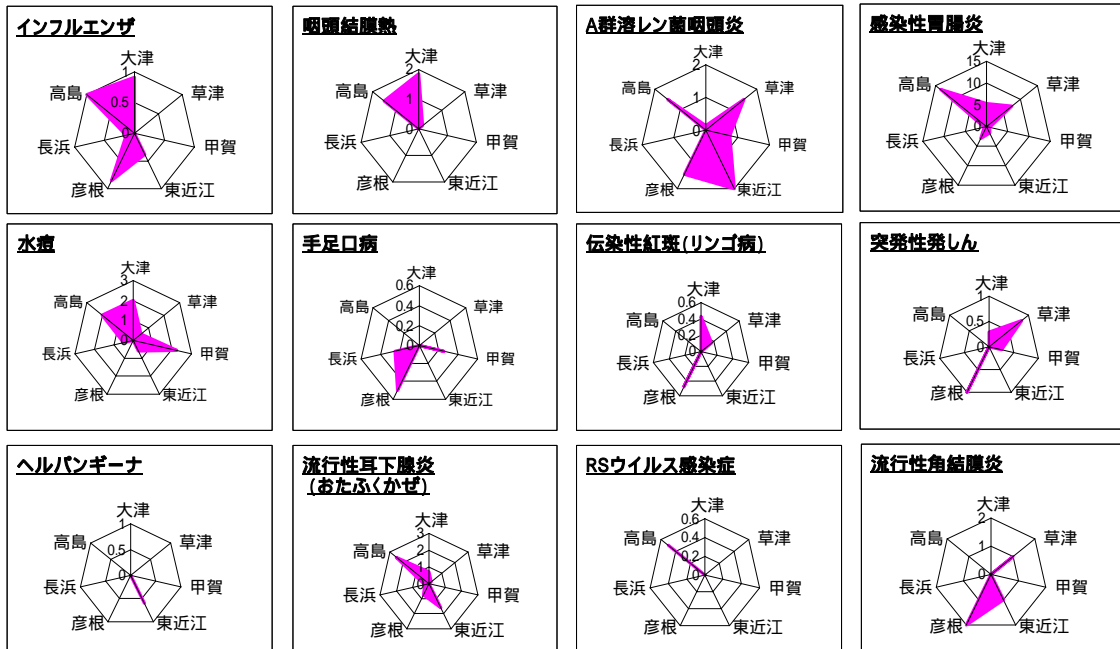
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ		前週より減少			
	10週	11週	12週	13週	14週	15週					
	(3/6～)	(3/13～)	(3/20～)	(3/27～)	(4/3～)	(4/10～)	11	12	13	14	15
インフルエンザ	4.35	3.22	2.29	1.04	0.39	0.41					
RSウイルス感染症	0.03	0.03	0	0	0	0.03					
咽頭結膜熱	0.25	0.13	0.19	0.22	0.19	0.53					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13	1.25	1.50	1.06	0.88	1.00					
感染性胃腸炎	5.53	6.38	4.56	4.38	4.63	4.19					
水痘	1.34	1.50	1.56	1.28	1.09	1.09					
手足口病	0.16	0.25	0.09	0.06	0.13	0.13					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.25	0.16	0.13	0.22	0.19					
突発性発しん	0.91	0.41	0.47	0.47	0.44	0.38					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0.03	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0.09					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0.03	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.59	0.44	0.69	0.44	0.72					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0	0.29	0	0.14	0	0.57					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0.14	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第15週、4/10~4/16)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.41	0.91	0	0	0.38	0.86	0.14	1.00	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
咽頭結膜熱	0.53	1.86	0.17	0	0	0	0	1.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.14	1.50	0.75	2.00	1.50	0	1.50	
感染性胃腸炎	4.19	5.29	7.50	0.75	1.60	3.00	0.50	13.50	
水痘	1.09	2.00	0.50	2.25	0.60	0	0.50	2.00	
手足口病	0.13	0	0	0.25	0	0.50	0.25	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.43	0.17	0	0	0.50	0	0	
突発性発しん	0.38	0.29	0.83	0.25	0	1.00	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0	0	0	0.60	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.72	0.71	0.17	0	1.60	0.75	0.25	2.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	1.00	0	1.00	2.00	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

0 1 2 3 4 5
定点当たり患者数(人)

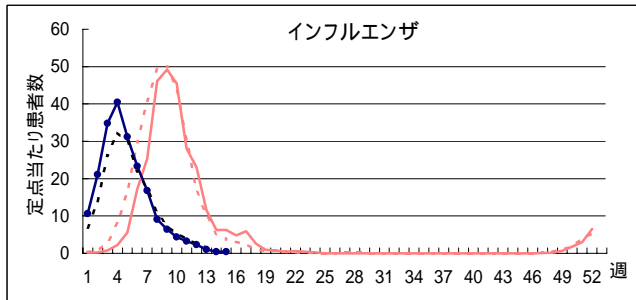
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



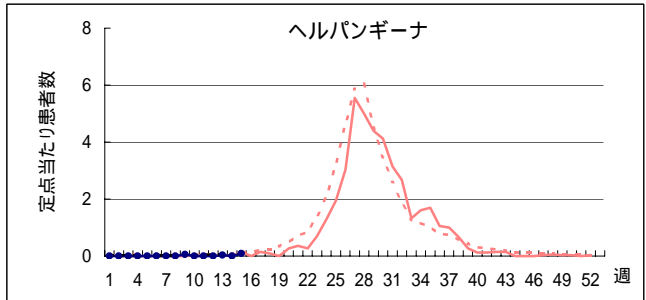
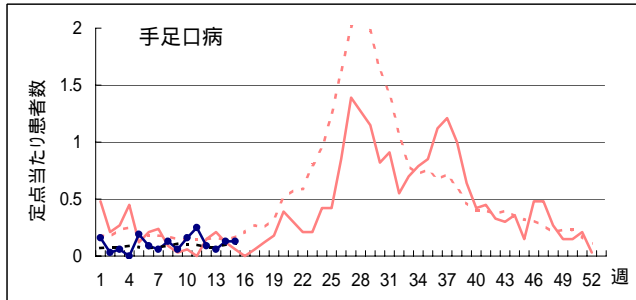
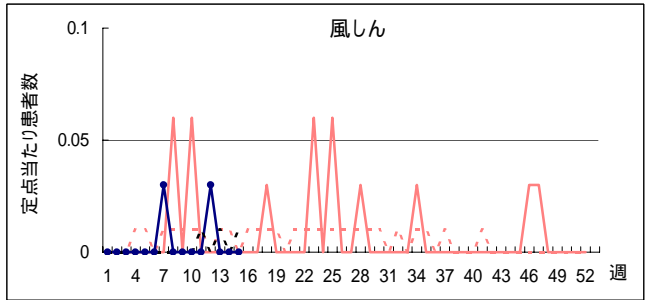
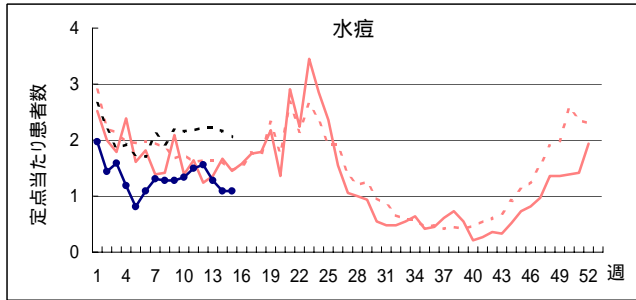
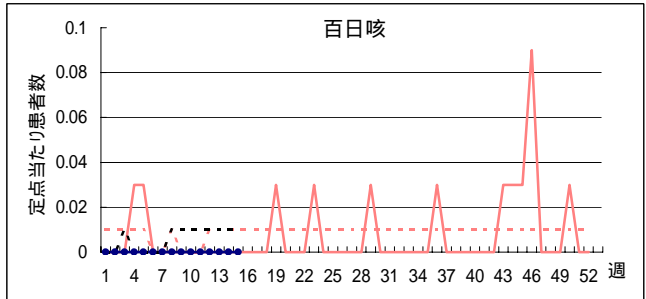
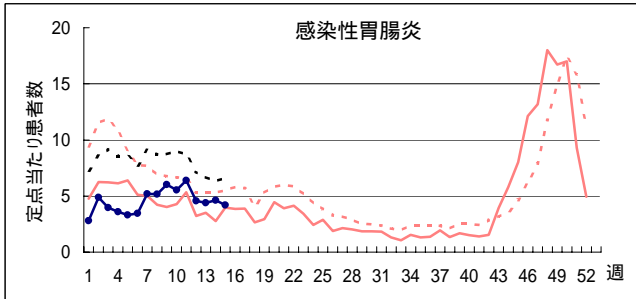
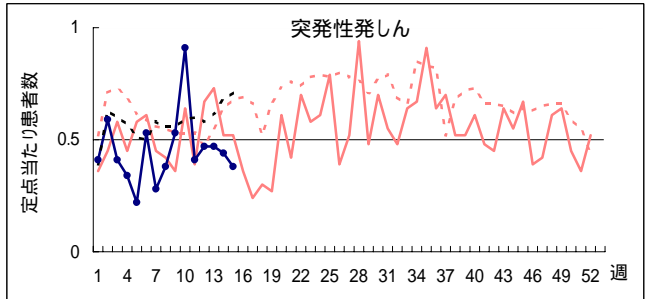
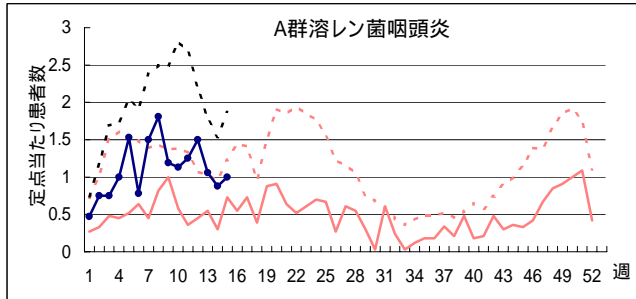
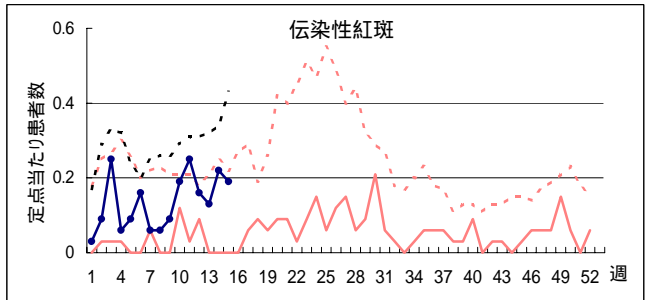
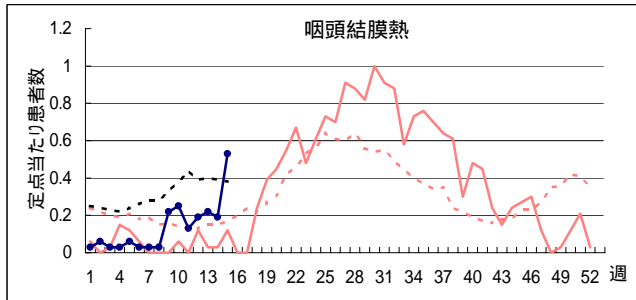
今週の発生状況：保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。

- インフルエンザ-----県全体としては先週とほぼ同じですが、大津および彦根では先週よりやや多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----大津および草津で先週より多くなっています。特に、大津で急増し定点り患者数は1.86となっています。また、先週増加した高島では減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----大津、草津、甲賀および彦根で先週より多くなっています。東近江では先週に引き続き多い状態となっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体としては先週よりやや減少していますが、草津および高島で先週より多くなり、特に、高島で急増し定点当たり患者数は13.50となっています。
- 水痘-----大津および甲賀で先週より増加し、大津で急増しています。
- 手足口病-----甲賀、彦根および長浜から報告されています。
- 伝染性紅斑-----大津および彦根で先週よりやや多くなっています。
- 突発性発しん-----草津、甲賀および彦根で先週よりやや多くなっています。
- ヘルパンギーナ-----東近江で先週より多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----東近江および高島で先週よりかなり多くなっています。
- RSウイルス感染症-----高島から報告されています。
- 流行性角結膜炎-----草津、東近江および彦根から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第15週、H18.1.2～H18.4.16)



H17 〔 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H18 〔 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第15週、H18.1.2～H18.4.16)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

